

No.126

北本市

# 議会だより

令和5年(2023年)11月1日発行

編集/議会広報広聴委員会

発行/北本市議会(北本市本町1-111)

Tel 048-591-1111 Fax 048-591-6335

URL <https://www.city.kitamoto.lg.jp/shigikai/index.html>



令和5年8月6日(日)に開催された  
会津坂下町「ばんげ夏まつり」に参加し  
姉妹都市交流をしました



## Contents

- 2 9月定例会
- 5 委員会の動き
- 8 提出案件の結果等
- 9 一般質問
- 15 請願
- 16 傍聴・議会報告会等

令和5年第4回  
北本市議会定例会は、  
11月24日(金) 開会の  
予定です。

# 9月定例会

## 令和4年度一般会計・特別会計 歳入歳出決算を認定

8月25日から9月26日までの33日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案20件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件、請願4件を慎重に審議しました。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

### 総括質疑通告者

- 大嶋 達巳(みらい)
- 岡村 有正(彩桜きたもと)
- 今関 公美(緑風会)
- 保角 美代(公明党)
- 中村 洋子(日本共産党)

※通告順に掲載

### 「議案第51号」令和4年度 北本市一般会計歳入歳出 決算の認定について

#### Q 歳入決算について

**A** 令和4年度一般会計の予算現額264億5096万8000円に対し歳入決算額は254億3936万1828円となり、その差額は10億1160万6172円、執行率96・2%となりました。

歳入において、執行率が低くなっている項目としては、市債の執行率58%、国庫支出金の執

行率87・3%等があります。

執行率が低調となった要因としては、市債については、新中央保育所整備事業における保育所施設整備事業債4億6550万円を含む市債5億240万円を令和5年度へ繰り越したことが、国庫支出金については、新型コロナウイルスワクチン接種対策費用負担金や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金に対応する歳出事業の不用額発生に伴い予算額との差額が生じたことが挙げられます。

#### Q 歳出決算について

**A** 歳出決算額は239億4025万3272円となり、予算現額との差額は25億1071万4728円、執行率は90・5%となりました。

歳出における執行率の低下の理由としては、不用額の発生及び翌年度繰越額の発生が挙げられます。款別の不用額は、民生費6億8070万2421円、

衛生費3億3836万3171円、商工費9814万7471円、農林水産業費3017万8113円などがあり、その中の

主な事業と不用額は民生費では住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業が1億4587万2609円、衛生費は新型コロナウイルスワクチン接種業務経費が2億423万3929円、商工費の中小・小規模企業者原油価格物価高騰等対策支援事業が8790万3969円、農林水産業費の農業者原油価格・物価高騰等対策支援事業が2342万3093円などとなっております。

これらの事業については、年度末まで事業が実施されることや申請があった場合に不足がないように努めたため、最終的に補正による精緻な調整が困難であったことから不用額が発生したものです。

翌年度繰越額については、総額9億4435万1000円と

なり、款別では民生費4億9095万2000円、土木費2億2553万円、教育費1億5217万6000円などが挙げられます。

繰り越した主な事業としては、新中央保育所整備事業4億9007万7000円、道路関連事業費2億2553万円、小・中学校給食費負担軽減事業1億3012万4000円があります。

適切に歳出がなされていたかということについては令和4年度一般会計歳入歳出決算における監査委員の審査の結果、令和5年8月4日付で有効性、効率性、経済性等の着眼点のもと、法令に適合し、かつ正確であるとの審査意見書を提出いただいていることから、予算執行は適切であったと認識しています。

令和4年度の予備費については、当初予算額5000万円に対し3722万7000円を充用しています。主な内容としては、新型コロナウイルス感染症流行下における検査キットの調達や自宅療養者への支援など、新型コロナウイルス感染症対策経費や消防設備の修繕など公衆施設や設備の緊急修繕等の経費が挙げられます。不測の事態に対応し、市民の安全・安心のため早急に対応する必要がある事

業に予備費を活用したものであり、その充用も適切であったと認識しています。

### 第五次北本市総合振興計画 後期基本計画に基づく主要な施策の成果について

**A** 令和4年度についても、若い世代の転出抑制と転入促進を図るため、リーディングプロジェクトの1、若者の移住・定住・交流促進に関する取組を実施しました。

はじめに、移住・創業小高い・地域活動ワンストップ支援事業312万9600円です。この事業は、市への移住希望者の窓口となる支援体制の整備や本市に興味を持っていただく体験ツアーの実施、創業支援など移住等につながる取組を実施しました。

これらの成果としては、移住創業相談が34件あり、うち2組の方が実際に本市に移住されました。また、市内で創業した事業者を講師に迎え、創業支援講座を実施し26名の参加があり、&green marketやシェアキッチンでのお試し実施も含めた11



件の創業があるなど移住創業等の推進に一定の成果があったものと考えています。

次に、マーケットの学校117万円です。この事業は、市役所の芝生広場を活用したマーケットを軸に、マーケットを通して北本市に関わりたい人を巻き込みながら地域の担い手の増加や市内でのマーケット開催数の増加を目指すことを目的とし実施する市民参加型のワークショップで令和2年度より実施している事業です。

令和4年度は5月から講義編を3回、実習編としてマーケットを12月17日に市役所芝生広場で1回開催しました。この取組を通して参加者同士の対話が生まれ、北本らしいマーケットを考え実践することでマーケット担い手の増加を図り、まちの魅力を高める屋外マーケット事業を推進することができました。

さらに、石戸蒲ザクラを中心とした歴史文化の魅力発信向上事業100万円です。この事業は、令和4年10月12日に石戸蒲ザクラが国指定天然記念物として指定されて100周年の節目を迎えたことから、この気運を高めるとともに、市内外へ石戸蒲ザクラの魅力や歴史文化を発信するために実施した事業です。具体的には、200万ユーザ

1を抱える日本文化の入り口マガジン、株式会社小学館の「和楽web」による10本のウェブ記事の作成やその記事のフェイスブックやツイッター(現「X」)などのSNSによる情報発信を行うとともに、市内在住の作家とコラボして石戸蒲ザクラをモチーフとした七宝焼きの作品をふるさと納税返礼品として開発しました。この取組を通して、

国指定から100周年を迎えた記念すべき年に石戸蒲ザクラを中心とした本市の歴史文化の魅力を多くの人に発信することができました。

令和4年度における若者の移住・定住・交流促進に資する事業は、ほかにも、屋外マーケット文化助成金事業291万5000円、みどりとまつり事業226万6000円、シティブロモーション小冊子改訂版作成事業198万円等を実施しています。

本市では、シティブロモーション事業の成果を測る指標として、市民の地域の推奨、参加、感謝の三つの意欲を定量化する修正地域参画総量指標、いわゆるmGAPという客観的な指標を取り入れ、先に述べた事業を総合的に行うことにより令和4年度のまちづくり市民アンケートではmGAPはマイナス56

2ポイント、前年度と比べて53ポイント上昇しました。

また、人口動態については、令和4年度も386人の社会増となり、令和元年度から4年連続での社会増となっています。引き続き人口減少に対応するためのリーディングプロジェクトに資する事業としてシティブロモーション事業を始めとした様々な事業を展開し、若者の移住・定住・交流促進を図ります。

**Q** 北本市財政計画と決算との比較検証について

**A** 財政計画は財政収支の見通しを立てることにより、現在及び将来における課題を捉え、財政運営の健全性を確保する取組を明らかにするため、新年度の当初予算編成時、おおむね1月時点における将来見通しで策定しているものです。

令和4年度における決算と財政計画との比較をしますと、令和4年度は喫緊の対応として新型コロナウイルス感染症の影響によるワクチン接種業務やコロナ禍における物価高騰対策などで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

した事業を実施しました。これらの対応のため、全9回の補正予算をお願いしたこともあり、計画とは乖離する結果となりました。

歳入では、国・県支出金が決算額63億1020万5266円で、財政計画に比べ17億6020万5266円、38・7%の増となったほか、ふるさと納税が大幅増となったことにより、その他歳入が決算額29億8944万8586円で、計画より9億5944万8586円、47・2%の増となり、歳入合計としては決算額254億3936万1828円で、計画より37億4936万1828円、17・3%の増となりました。

歳出では、歳入同様新型コロナウイルス感染症の影響によるワクチン接種業務に伴う物件費の委託料等やコロナ禍における物価高騰対策に伴う補助費等の負担金補助及び交付金が増加したため、その他経費が決算額111億3976万9139円で計画より24億8376万9139円、28・7%の増となりました。

り1億3270万5572円、12・5%の減となりました。これらにより歳出合計では、決算額239億4025万3272円で計画より31億3025万3272円、15%の増となったところです。

財政指標のうち実質公債費比率については、財政計画では7・6%で見込みでしたが、令和4年度決算においては7・9%とプラス0・3ポイントの乖離が生じました。

また、将来負担比率は財政計画では4・3%と見込んだところですが、令和4年度決算においては算定されない結果となりました。

これは、計画策定時点では前年度市債発行対象事業の決算額が確定しておらず、市債発行額を予算額からの見込みにおいて算出していることや公債費の元利償還金についても償還利率の見直し等により償還額の変更があったことによるものです。また、将来の施設整備等に備え、各基金に積立てを行ったことも将来負担比率を減少させる要因となっています。本年度においても、物価高騰などの状況が続いており、今後の社会情勢や国・県等の動向を踏まえ引き続き適正な財政運営を図れるよう努めていきます。



## 討 論

### 「議案第51号」令和4年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定 についての討論

#### 反対討論（日本共産党 中村洋子）

遊休農地の解消や農業者の高齢化、後継者がいないなど、農業振興の働きかけが不十分です。また、デマンドバスは料金が値上げされ、2か所の病院への乗り入れが可能になったが、その他の病院や他市の公民館などへの交通手段にはなっていません。市の職員が足りておらず、会計年度職員が半数を占め、専門性と安定した市政運営には正規職員の増員が必要です。小・中学校の教諭の残業や過重労働がわれています。子ども一人ひとりに目が行き届く少人数学級を導入することを求めて不認定とします。

#### 賛成討論（彩桜きたもと 岡村有正）

歳入では、ふるさと納税寄附額が3年連続県内1位で11億1,018万円となり、自主財源の確保と本市のサポーターを増やす取組として評価できます。歳出では、民生費が前年度比4,543万円増の103億9,508万円と全体の43.4%となり、新型コロナウイルス感染症拡大や資源価格・食料品等の物価高騰等に対する生活・暮らしへの支援が図られたと考えます。また、実質公債費比率は7.9%、将来負担比率は算定されず、市債発行量や残高を適正に管理し健全な財政運営に努めた成果と考えます。

#### 賛成討論（公明党 保角美代）

新規事業について概ね順調に執行されたことを評価します。人件費に関し、公務員の働き方改革を行い、仕事のパフォーマンス向上のため努力が必要と考えます。民生費に関し、市民の支援を早い時期からすることで、問題解決につながることを期待します。学校では不登校生徒の気持ちに寄り添い、支援をする手立てはまだまだあると感じています。今後も子ども施策の充実、市民の皆さまの安心安全、健康福祉増進の事業の充実、持続可能な北本市を目指すことを要望し、賛成討論とします。

#### 賛成討論（緑風会 今関公美）

歳入のうち、市税は前年度と比べ1.2%増加となりました。しかし収入未済額は増え、更に滞納繰越分は下落となりました。市民負担の公平性から適切な滞納整理を行って下さい。歳出のうち、デマンドバス事業では前年度より利用者が増えています。市民が安心して外出ができるように、市外乗り入れ等改善して下さい。令和4年度については特に問題無く執行できていると判断しますが、高齢化対応や久保土地区画整理、新ごみ処理施設建設等の課題がありますので、今後も健全な財政を維持して下さい。

#### 賛成討論（市民の力 工藤日出夫）

令和4年度一般会計決算について以下の指摘をし賛成討論します。塵芥処理費「北本市ごみ減量新施策の検討に係る調査業務委託料」ですが、当初本予算は「広域処理だけでなくあらゆる可能性について財政負担等の調査・比較検討を行うこと」の決議を受け令和3年度予算計上したが執行できず繰越し、調査業務内容を変更したもので執行に課題が残っています。また南部地域整備基金ですが、単年度会計の原則から財源の固定化は課題が多く久保区画整理事業等の財源に活用すべきと指摘します。

#### 賛成討論（れいわ新選組北本 毛呂一夫）

自主財源と依存財源を比較すると自主財源が約14億8,000万円上回っています。市独自事業の実行を可能にします。中でも社会増による市税増は、このまちの未来を約束します。歳出を見ると、更なる社会増実現の為の施策実行と市独自のシビックプライドの醸成を図るシティプロモーション事業への支出が明らかであり、評価できます。財政調整基金も、市民にとって必要な施策をまず一般会計に落とし込んで、歳入不足時に、この基金から補填するという勇気ある行動を取って戴きたい。

## 予算決算常任委員会

「議案第51号」令和4年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について

総務文教分科会長報告の内容について

**Q1** ふるさと納税11億1018

万2000円の伸び率が22・3%、経費を除いた残額6億3610万円の伸び率が18・2%、収入よりも利益の伸び率が低いということは経費の伸び率が高かったことを意味するが、その経費の中でも大きな割合を占めるポータルサイトの委託料1億353万6029円の伸び率が25・8%とかなり高くなっている要因について

**A1** 令和4年度から新たに「さとふる」及び「ふるさと本舗」の2つのふるさと納税ポータルサイトを追加しました。「さとふる」については寄附額の12%に加え消費税、「さとふる」と本舗」については寄附額の9%に加え消費税という経費率で、他のふるさと納税ポータルサイトと比べ経費率が高い

ためです。

**Q2** GIGAスクール構想の実

現関連経費のうちタブレット等修繕料について小学校費に255万5790円、中学校費に186万3950円とあり、前年度比大幅増となっている理由と修繕の内容について

**A2** 令和3年度は機器の保証対

象期間内での修繕をしていましたが、令和4年度については保証対象期間外となり、全額市の負担となったことから金額が大幅に増えています。主な修繕の内容は、液晶画面に反応しない部分が出てきた、液晶画面が映らなくなった、キーボードの反応しない部分が出てきたという事象で、小学校が89件、中学校が57件でした。

健康福祉分科会長報告の内容について

**Q** 放課後児童支援員等処遇改善

臨時特例事業補助金の内容について

**A** 月額9000円相当、率でい

うと3%相当の処遇改善を事業者が実施した場合に補助するものです。民設放課後児童クラブと公設



児童保育室の管理者がそれぞれ処遇改善を図りましたので、350万7222円を支給しました。

建設経済分科会長報告の内容について

**Q1** 新型コロナウイルス感染症

対応事業として実施した中小・小規模企業者原油価格・物価高騰等対策支援金の実績及び広報・周知の内容について

**A1** 対象件数2474件の中

から1072件、約43%の申請がありました。当初予算では2474件に対し1件当たり5万円を見込んで1億2370万円を計上しましたが、決算額は5360万円となり、想定より申請が少なかったと考えています。周知方法としては、チラシを各施設に配架したほ

か、北本市商工会から会員への送付、広報きたもとへの折込みを行いました。

**Q2** 南部地域整備基金積立金に

ついて、令和4年度は1億2042万1710円を積み立てているが、目的基金であるにもかかわらず、南部地域の整備ということが不明確な中で、毎年積み立てを行っている意味をどう考えているのか

**A2** 北本市南部地域整備基金の

設置、管理及び処分に関する条例では、基金の処分について、新駅の設置の財源、新駅周辺地域の都市基盤整備の財源、圏央道桶川加納インターチェンジ周辺地域の都市基盤整備の財源、南部地域の整備に要する経費の財源、災害により生じた経費の財源の5つが定められています。新駅に関しては平成25年の住民投票で現在白紙となっていますので、今後は南部地域の整備に要する経費の財源として、例えば、石戸下の踏切や久保特定土地区画整理事業などの経費に充てることを検討していきます。

**「議案第53号」令和4年度北本市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について**

**Q** 令和4年度末時点での事業進捗率について

**A** 令和4年度末時点の総事業費ベースでの事業進捗率は48・6%で、令和3年度末から2・5ポイント上昇しました。建物移転の進捗率は、令和4年度は3戸の建物移転を行い、移転が必要な建物116戸のうち76戸が完了したので進捗率65・5%、令和3年度末から2・6ポイント上昇しました。区画道路の整備進捗率は、令和4年度は3路線、約210メートルの整備を行い、進捗率41・4%、令和3年度末から1・7ポイント上昇しました。



**「議案第66号」令和5年度北本市一般会計補正予算（第5号）**

**総務文教分科会長報告の内容について**

**Q** 今回の補正計上で令和5年第2回北本市議会定例会において説明のあった新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の限度額1億5141万2000円全てを事業に充当できたのか

**A** 令和5年第2回北本市議会定例会において可決された1億877万7000円と既に内示されている限度額1億5141万2000円との差額4263万5000円について補正計上した国庫補助金は、推奨事業メニューの中で、医療機関、福祉施設、児童施設、塵芥収集事業者、し尿処理事業者、路線バス・タクシー事業者及び市外の学校に通う児童生徒の給食費を対象として補正計上している事業費に全額充当しています。

**健康福祉分科会長報告の内容について**

**Q1** 初回産科受診料助成金の内

容と、積算根拠について

**A1** 妊娠を確認する初回の受診料は健康保険の適用がなく原則自己負担になるため、初回の受診をためらい、その後の必要な支援や医療的ケアを受けずに出産に至る人がいるという課題に対処するために、低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業を国が創設しました。初回産科受診料助成金の積算根拠については、令和3年度の妊娠届の届出者数の中から要件に該当する方が約5%いましたので、年間の出産の人数約400人の5%の20人分を計上しました。

**Q2** 保育士就職奨励金において、公立保育園を対象外とした理由と、積算の根拠について

**A2** 民間保育施設が保育士を確保することを支援するための奨励金であることから、公立の保育所は対象としていません。積算の根拠ですが、今回の奨励金は待機児童が出ている1歳児での33人を解消することが目的となっており、1歳児クラスで4人受け持った場合、10人雇えば、最大40人の児童を受け

入れることができることから、1人当たり20万円に保育士10人分を乗じた、200万円を計上しました。

**総務文教常任委員会**

**「議案第60号」北本市土地開発公社の解散について**

**Q1** 土地開発公社を解散した場合に残る資金額とその使い道について

**A1** 残余財産は約4億3000万円、本定例会にて議決されると解散に向けての手続きに入ります。平成30年度の市からの解散依頼通知では、公共施設整備基金に積み立てることが望ましいとあり、その時の状況を踏まえ総合的に勘案して使途を定め予算計上することになります。

**Q2** 解散手続きが整った後、残余財産約4億3000万円について市からの解散依頼通知によると公共施設整備基金に積み立てることが望ましいということだが、その理由について

**A2** 土地開発公社は昭和40年代後半に、地価が高騰する前に用地を先行取得することにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に資するための活動を行う法人として設立されています。それらの時代において整備されてきた公共施設について、長期的展望を持って適切に管理するとともに、市民の有効利用に供していくことが課題になっていきます。これらのことから極めて重要である市民の拠点施設の整備、公共施設の再整備等に残余財産を活用できるのは、公共施設整備基金と考えています。

**「議請第4号」学校給食費の完全無償化を求める請願について**

**Q** 請願事項1に「給食費を完全無償にすること」とあり、この完全にごだわるのか。中学校のみ、第3子のみもしくは主食及び牛乳のみ等といった一部補助という考えもあるのか

**A** 令和5年度は完全無償になっており、令和6年度以降一部無償

化になるとなれば残念ながらそれは後退するということになります。財源をどのように捻出するのか市が様々な方法で検討し、未来ある子どもたちのために財源を捻出してほしいということ、そして、令和6年度以降も引き続き完全無償化を継続してほしいという市民の強い思いです。

**建設経済常任委員会**

**「議請第2号」北本総合公園テニスコートの改修に関する請願について**

**Q** クレーコートは平成15年以降全面改修を行っていないため今後整備計画を進めていくと聞いている。請願事項1について、先ほど請願者は特にオムニコートにごだわらないと答弁したが、請願趣旨と異なることについてどう考えているか

**A** 考え方としては、オムニコートありきではなく、まずは危険回避をしてください、排水性を良くすればオムニコートでなくても、

利用者に迷惑をかけることはありません、ということ。人工のクレーコートは排水性がよく整備も容易で、整備費用や維持管理費用が抑えられると考えられますので、整備を検討していただけるのであれば、いろいろな種類の中でメリットがあるものを選んで改修工事をやっていただきたいということが、テニス協会としての意見です。

**「議請第5号」西後保護地区周辺の緑地の保全を求める請願について**

**Q1** 公有地化するのとは一つの方法とのことだが、仮に公有地化する場合、地権者はそのことに関して同意しているのか

**A1** 公有地化はあくまで一つの方法ということで今回提案していますので、具体的に公有地化するような打診はしていません。地権者が求める、納得できる方法を今後協議しながら考えていくべきだと思います。

**Q2** この地区は旧暫定逆線引き

地区で数少ない市街化区域に編入できる地区のため、将来的な市街化への整備を考えると、中央緑地の残事業の現状をみても公有地化は厳しい状況にあると思うが、どう考えているか

**A2** もし旧暫定逆線引き地区を今後区画整理することになれば、一定割合の公園を残さなければならぬので、一つの方法として、地権者が公有地化を望めば、この場所を公園の面積として算入することで減歩の負担を減らせるのではないかと思います。財政的な面では、公有地化する場合は財源として市債を充てることができ、土地は減価償却もしないので、もし財政状況が悪化したら必要があれば売却することもできます。市債を発行して財産として残れば、手法としては悪いものではないと思っていますので、公有地化も含めてあらゆる方法を検討してほしいと考えています。



**提出案件の結果一覧（9月定例会）**

議案名	議決結果	彩桜きたもと						緑風会				公明党			日本共産党		みらい		市民の力		北本 の 新 選 び
		永井 司	青野 康子	高橋 誠	諏訪 幸男	岡村 有正	現王園 孝昭	滝瀬 光一	小久保 博雅	村田 裕子	桜井 卓	今関 公美	齊藤 章	保角 美代	島野 和夫	湯沢 美恵	中村 洋子	金森 すみ子	大嶋 達巳	工藤 日出夫	毛呂 一夫
「議案第51号」令和4年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
「議案第52号」令和4年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第53号」令和4年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第54号」令和4年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
「議案第55号」令和4年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第56号」令和4年度埼玉県広域公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第57号」令和4年度北本市公共下水道事業会計決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第58号」北本市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第59号」北本市印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第60号」北本市土地開発公社の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第61号」北本地区衛生組合の規約の変更及び財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠
「議案第62号」市道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第63号」令和4年度北本市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第64号」固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠
「議案第65号」令和5年度北本市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠
「議案第66号」令和5年度北本市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第67号」令和5年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第68号」令和5年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第69号」令和5年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議案第70号」令和5年度北本市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議請第2号」北本総合公園テニスコートの改修に関する請願	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議請第3号」北本総合公園内トイレの洋式化に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議請第4号」学校給食費の完全無償化を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議請第5号」西後保護地区周辺の緑地の保全を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
「委提第4号」学校給食費の無償化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「議提第8号」建築物石綿含有建材の事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄になっています。※表の見方 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥

**除斥・退席について**

除斥…議会において、議員は直接の利害関係にある議事には参加できず、関係事案の審議に際しては退場しなければならない。  
 退席…議員個人の判断で、採決前に議場の外へ出ること。

その他の議会用語については市議会のホームページで公開しています。



# 一般質問

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。

## 久保特定土地区画整理事業について



おおしま たつみ  
大嶋 達巳  
(みらい)



録画配信

**Q1** 事業期間が6年短縮されるが、事業費はどのようになるのか

**A1** 区域除外した場合の残りの事業費は76億9000万円となり、総事業費は124億2000万円となります。

**Q2** さらに事業期間の短縮は可能なのか

**A2** 事業期間の短縮については、毎年度の事業費予算を増額すれば、計算上、事業期間の短縮が可能となります。

**Q3** 北本市南部地域整備基金を使うことはできるのか

**A3** 北本市南部地域整備基金の設置、管理及び処分に関する条例における南部地域の整備に要する経費の財源に充てる際に該当します。

**Q4** 土地開発公社の残余財産を使うことはできるのか

**A4** 公共施設整備基金に積立て活用したいと考えています。

**Q5** 事業期間の短縮に向けてさらなる取組が必要だと考えるが

**A5 (市長)** 今回の事業見直しについては、地権者の願いである事業の早期完了の実現につながることから、大変多くの地権者の皆様から御理解をいただいている状況です。このような地権者の皆様の御期待に応えるべく、事業を前向きに取り組んでいきたいと思えます。

## 子どもの権利に関する条例の取組状況について



さくらい すぐる  
桜井 卓  
(緑風会)



録画配信

**Q1** 子どもの権利相談窓口への相談の状況は

**A1** 昨年10月から今年7月末までで延べ56件の相談がありました(新規21件、継続35件)。相談方法は電話20件、面談21件、手紙3件、相談フォーム12件。相談者は、本人8件、保護者28件、その他20件。内容ははじめ、子育ての悩み、交友関係、教職員の指導などです。

**Q2** 子どもの権利に関する行動計画の策定に当たり、どのように子どもの意見を聴いていくか

**A2** 小4～高3を対象に市民意識調査を実施しました。今年11月にパブリック・コメントも実施します。子どもの意見の計画への反映に努めます。

**在留外国人人口の増加について**

**Q1** 在留外国人の国籍別人口の推移は

**A1** 平成30年末から令和4年末で1.6倍に増加しています。ベトナム国籍の増加が顕著です。

**Q2** 学校での状況はどうか

**A2** 外国籍の児童生徒は小学校16名、中学校3名です。タブレットの翻訳アプリを活用するほか、日本語、英語、ジェスチャーなどでコミュニケーションを図っています。

**Q3** 子どもや先生のサポートが必要ではないか

**A3** ボランティアスタッフの募集など対応を進めていますが、近隣では日本語指導教員や会計年度任用職員を配置し、支援している市町もあります。安心して学習できる環境整備に努めます。

## デマンドバスについて



ながい つかさ  
永井 司  
(彩桜きもと)



録画配信

**Q1** 1日あたりの混雑時間帯は

**A1** 午前9時台が利用のピークです。

**Q2** 既存の共通乗降場以外の個人宅で乗り降りしたいとの要望があったが、追加指定は可能か

**A2** 既存の公共交通との共存の観点から、個人宅への運行は検討していません。

**Q3** 市外の病院の追加の乗降場指定は可能か

**A3** タクシー事業者との利害関係の調整など地域での合意形成が必要となります。

**公民館体育室へのエアコン設置について**

**Q1** 公民館体育室へのエアコン設置の見通しはあるか

**A1** 今のところ検討していません。

**Q2** スポットクーラーの導入は検討しているか

**A2** 一部の市内小学校での使用実績がありますので、導入費用やその効果等を参考に、今後の導入について検討したいと考えています。

**Q3** 熱中症対策には体を冷やすことが重要である。更衣室にエアコンを設置し、休憩室として運用することはどうか

**A3** 熱中症対策の1つとして今後検討したいと考えています。

**その他の質問**

○子ども医療費の窓口での立替払いについて  
○生産緑地について 他

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



もろ かずお  
毛呂一夫  
(れいわ新選組北本)



録画配信

### 市民が便利に移動できるまちについて

**Q1** デマンドバス活用促進の取組について

**A1** 市民課窓口で利用チラシ配布、市ホームページで運行概要・利用方法を掲載し、利用促進を図っています。「公共交通に関するアンケート」を令和3年度に引き続き、今年度も実施予定です。利用者の声や市民ニーズの把握に努めます。

**Q2** 公共交通におけるクロスセクター・ベネフィットという考え方はどう評価するか

**A2** ある部門で取られた行動が他部門に利益をもたらす。つまり、住民に交通権を保障し、高齢者や障がい者が気軽に外出できるようにすれば、それが健康増進につながり、その結果、医療費負担が少なくなるという考え方です。三重県玉城町の取組が、まさにクロスセクター・ベネフィットだと思いますので、今後の参考にします。

### 人口の社会増を推進する取組について

**Q** 明石市の5つの無償化と類似するものは

**A** あります。①子ども医療費の無料化（高校3年生まで実施済み）②保育料無料化（類似・多子出産祝金事業）③おむつ（類似・子育て応援事業）④中学校給食費無料化（類似・小中学校無料化）⑤公共施設入場料無料化（類似・児童館市内外問わず利用無料）

### その他の質問

- 地域猫実態とマイクロチップ効果について
- 転入者動態確認及び転入動機について



ほ づ み み よ  
保角美代  
(公明党)



録画配信

### 総合受付の改善について

**Q1** 庁舎東側に総合受付の方が立っているが、案内の方とわかるように、机等を置いてはどうか

**A1** 東側の出口は非常口で、消防計画上の避難通路のため、小さな机等であっても設置は難しく、点字ブロックを利用する方の妨げになるおそれもあります。職員の立ち位置の変更、頻繁な声かけ、名札のデザインの変更などの改善可能な対策を考えます。

**Q2** 外国人への対応はどのようになっているか

**A2** 日本語が話せない方への対策として、スマートフォンアプリの活用や翻訳機器の導入などについて、今後委託業者と協議したいと考えています。

### 北本総合公園内の利便性向上について

**Q1** クレーコートに排水やコートの凹凸、白線

**A1** 北本市公園施設長寿命化計画の健全度調査において、一番評価の低いD判定となったクレーコート4面の、改修工事を行えるよう国の補助金の社会資本整備総合交付金を要望しています。

**Q2** 公園内トイレの洋式化について

**A2** 北本総合公園の中でも利用者が多い管理棟トイレ及び中央のトイレにおいては、来年度以降に洋式化の改修工事を実施できるよう、本年度設計業務を実施する予定です。

### その他の質問4件



ゆ ざ わ み え  
湯沢美恵  
(日本共産党)



録画配信

### 救急救命について

**Q** 何かあった時の命を守るために、市職員、教員、小・中学生への救急救命教育について伺う

**A** 市職員は年に1回、新規採用職員を対象に救命講習を行い、小・中学校では、各校で教職員を対象に毎年年度当初にAEDの使用を含めた心肺蘇生法研修会を行い、夏季休業中にも普通救急救命講習会を実施しています。小学生には、けがが起こった時の適切な対応方法を指導し、中学生は保健体育の授業で胸骨圧迫やAED使用の実習を通して応急手当てを行えるよう指導しています。

### 熱中症対策について

**Q** 保育所や小・中学校の熱中症対策と、市民向けへの冷房の効いた場所の提供・指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の設置について伺う

**A** 保育所では日本生気象学会の「日常生活における熱中症予防指針」による判定に合わせて、熱中症指数モニターを使用して外遊びの判断をしています。小・中学校では、日本スポーツ協会による「熱中症予防運動指針」を基準とし、暑さ指数測定の出来る熱中症計を活用し、運動内容の変更や制限、中止をするよう指導しています。クーリングシェルターについては、改正気候変動適応法で創設され、冷房の効いた場所に公民館などを指定することが出来ますが、設置要件がまだ具体的に示されていないことから、国から情報が入り次第、設置の検討・協議に努めます。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。

通学路の安全について



なかむらようこ  
中村洋子  
(日本共産党)



録画配信

**Q1** 荒井地域・市道6216号他2路線の間通学路のスクールゾーンの設置について

**A1** 石戸小学校区の該当通学路へのスクールゾーン設置について、警察から基本的には周囲に歩車分離がなされている県道が整備されているので、通学路の変更も検討してほしいとの回答がありました。その旨を学校に報告したところ、学校からは再度通学路の改善に関する要望書が提出されましたので、引き続き鴻巣警察署へスクールゾーンの設置について働きかけていきます。また、車道と路面帯を視覚的に区別させ、歩道を目立たせるグリーンベルトの敷設や、歩道と車道を区別する車線分離標の設置、事故防止啓発に係る看板の設置をしたところです。今後関係課及び鴻巣警察署等と通学路の危険箇所の情報を共有し、スクールゾーン設置について働きかけ、学校では交通安全教育の徹底を図り家庭、地域の方々の協力を得ながら、児童生徒が安全に登下校できる環境づくりに努めていきます。

**Q2** 道路に「学童注意」の標示はできないのか

**A2** 「学童注意」の標示も含め今後どのような安全対策がふさわしいのか検討していきます。



保育園入園について



むらたひろこ  
村田裕子  
(緑風会)



録画配信

**Q** 保護者保育士双方の負担軽減のため、おむつやエプロン、お布団、歯ブラシ等日々の持物にサブスクを導入し手ぶら登園を可能にしては

**A** サブスクによる一括提供は、保護者はメリツトかもしれません。多くの用品について、業者が入り実施するとしても、施設側で用意、管理を行う事務は必ず発生し、これら全ての作業は保育士により行うことになるため、必ずしも保育士の負担軽減に繋がるとは言えません。

下水道事業について

**Q1** 今後の下水道事業予測について

**A1** 人口減少に伴う水洗化人口の減少や節水型機器の普及により、将来下水道使用料収入の減収が見込まれ、更に下水道の供用開始から40年程度経過し、今後は保有する施設の老朽化による維持管理や更新事業に多額の費用も見込まれる状況から、早期に下水道使用料を改定したいと考えています。

**Q2** 国が推進するウォーターPPPについて、管路でも先進事例があるが

**A2** 所有権を行政に残したまま民間企業が維持管理などの運営を行う手法の一つで、主な特徴は10年程度の長期契約による民間ノウハウを活用した効率的な維持管理、施設更新を一体として行うもので、自治体職員の負担軽減や経費削減に繋がることから、導入も選択肢として調査します。

療育（発達支援）への取組について



かなもり  
金森すみ子  
(みらい)



録画配信

**Q1** 障がいのある子どもやその可能性のある子どもの特性を、早期に捉え必要な療育を受けられる体制の充実は、子ども自身の将来の生き易さに繋がる。療育が不十分であると、保護者の就労制限や兄弟姉妹のヤングケアラー問題等も心配されてくる。療育を通して対象家族をしっかり支援し、その生活を安定化好循環化させる事が大切だ。児童発達支援センターで行う療育の子どもへの効能や需要と供給の状況、対象家族支援の請願対応は

**A1** 本施設では、子どもの状態を保護者が理解し受け止められるよう、職員が保護者を援助し、子どもの小さな成長を共有していくことで、家庭でのスモールステップの働きかけに繋がっています。遊びを通して友達との関わりも促し、集団での生活に慣れることへ繋がっています。また、センターの利用日数を増やしたい方などが4名程いる状況で、更に需要が高まると推測され、受入れの在り方について検討していきたいと考えています。採択された請願対応としては、ホームページ掲載内容充実の為に情報収集等の調査研究を進めています。

**Q2** 就学時には学校との連携も必要だが状況は

**A2** 教育委員会では、児童発達支援センター利用保護者が安心して学校に通わせられるよう、毎年就学に向けて学習会や就学相談を行っています。希望があれば保育所等に伺い、子どもの行動観察の上考えられる支援策について提案しています。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



いませきまさみ  
今関公美  
(緑風会)



録画配信

### 保育所・園の待機児童について

**Q** 必要に応じて相談、助言等を行う専門の相談員であるコンシェルジュの導入は、待機児童対策だけでなく保育利用希望者や施設にとっても有益であるので導入してはどうか

**A** 利便性の向上、保育サービス等の利用にスムーズに導けると考え、導入を検討していきます。

### ヤングケアラーについて

**Q1** 子どもの悩みや相談をいち早く気付くためにタブレットを活用し、アンケートを行ってはどうか

**A1** 実施予定はありませんが、関係課等と連携し必要な支援につなげていきます。

**Q2** ヤングケアラーについて児童生徒が理解を深めるためヤングケアラー授業デザインキットをどのように活用していくのか

**A2** 各小中学校へ送付し、授業内容を考え、児童生徒の理解を深めているところです。

### 安心して利用できる庁舎窓口について

**Q** 窓口にはアクリル板が設置され、職員はマスクをしているため、特に高齢者は声が聞きとりづらく大きな声での対応となり、個人情報周りの市民に聞こえてしまう心配がある。聞こえのサポート環境、補助機を導入してはどうか

**A** 他市では対話支援スピーカーの運用、軟骨伝導イヤホンを導入し聞き取りやすいと意見があったようです。取組事例を研究していきます。



こくぼひろまさ  
小久保博雅  
(緑風会)



録画配信

### 地域防災について

**Q1** 北本市地域防災計画の改定・見直しについて

**A1** 災害対策基本法、水防法等の改正や、上位計画である国や県の防災計画との整合を図るため、今年度改訂作業を進めているところです。

**Q2** 北本市地域防災計画には降灰被害に対する対応についてあまり記載がないが、どのように考えているのか

**A2** 北本市で想定される地震への備えの中で対応が可能であると考えています。現在、国や県による降灰対策が検討されていますので、その動向を注視したいと思います。

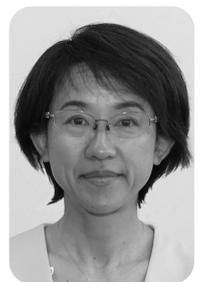
### 通学路の安全対策について

**Q1** 令和3年度に行われた通学路の合同点検後の通学路安全対策の進捗状況について

**A1** 学校関連による対策箇所は50でしたが、見守り活動や安全教育などにより、全ての箇所改善がされています。昨年末現在、白線の補修等は、45か所中25か所、信号機設置等は、6か所中1か所対策済みとなっています。

**Q2** 通学中の児童・生徒の熱中症対策について

**A2** 各学校において、熱中症に関する予防法、応急処置等の指導を行っています。また、保護者に対しては、熱中症対策用具の活用を推奨しています。緊急の場合はこども110番の家や近くの大人に助けを求めるように呼びかけています。



あおのやすこ  
青野康子  
(彩桜きたもと)



録画配信

### LGBT理解増進法の成立を受け市の対応について

**Q1** 庁舎、公共施設のシャワー室やトイレの利用についてどのようにお考えか

**A1** 本人の意思を尊重しつつ、性別で利用区分のないトイレをということであれば多目的トイレの利用を、入浴、シャワー室については身体的特徴をもって男女を判断し、施設の利用について御案内したいと考えます。

**Q2** 学校教育について行っていることは何か

**A2** 教職員がLGBTについて理解を深めるための研修。児童生徒へは県が作成している人権感覚育成プログラムを活用し発達段階に応じて指導をしています。

### 新型コロナウイルスについて

**Q1** ワクチン接種の周知はどう対応しているのか

**A1** 直近の接種を受けた人のみ接種券をお送りしています。接種は強制ではなく、あくまでも本人が納得した上で判断いただき、接種券がない場合は、市に接種券発行を申請していただくこととなります。

**Q2** 副反応、後遺症はどう対応しているのか

**A2** 比較的良好に起こる副反応以外、何らかの障害が残る等、副反応による健康被害をなくすることができないことから、埼玉県の副反応専門相談窓口や予防接種健康被害救済制度が設けられています。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



さいとう あきら  
斉藤 章  
(公明党)



録画配信

**小・中学校の相談支援体制の拡充について**

**Q1** 小・中学校の不登校の児童生徒数について

**A1** 不登校として30日以上欠席があった生徒は小学校で21名、中学校で60名、合計81名です。昨年度、不登校の児童生徒の合計55名と比べ約1.5倍以上に増加したことになります。

**Q2** 小学校の補助員及びスクールサポートスタッフの人数、現状について

**A2** 市内各小学校には、学力向上支援員を15名、特別支援教員支援員を20名、学校図書館指導員を7名、スクールサポートスタッフを5名配置しています。スクールサポートスタッフは、教員の業務支援、負担軽減を図ることを目的として、小学校5校に配置しています。

**Q3** 学習支援の取組について

**A3** 市立教育センターに設置している「ステップ学級」では学校以外の場所で学びたい児童生徒に対して、学習場所の提供及び学習支援と相談活動を行っています。市内中学校3校に設置している学習支援室「ほっとルーム」では、在籍学校に登校はできませんが、集団での学習が苦手な生徒に対して常駐している教職支援員が学習支援を行っています。

**保育所・幼稚園の安全対策及び改善策について**

**Q** 送迎バスの安全装置導入率について

**A** 市内全体での導入率は26台中24台の設置が完了していますので92・3%です。



くどう ひでお  
工藤 日出夫  
(市民の力)



録画配信

**新たな枠組みでの新ごみ処理施設整備について**

**Q1** 基本計画策定に向け市の戦略的なガバナンスを踏まえ市長の覚悟つきの基本方針の見解は

**A1** 現在、埼玉中部環境保全組合の新たなごみ処理施設等建設検討委員会で基本計画の策定を進めています。施設整備の基本理念及び基本方針は事務局より国・県・構成市町の上位計画を勘案した基本理念と基本方針が提案されています。

**Q2** 答弁は、戦略的でなく事務の経過報告である。私が質問した戦略的とは、市長が政治家としての決心、覚悟つきの理念である。広域事業でこれは譲れない等々市及び市長のスタンスである

**A2** 現在は交渉の段階ではなく課題解決に努めている段階です。戦略的なスタンスを今持てという指摘ですが、その段階は一応過ぎています。

**Q3** 戦略は実施過程すべてに必要である。広域化で最大のスケールメリットを市長は求めているが、2市1町の広域化で旧3市に比べメリットとは

**A3** まず市民の安心、安定。次に地球温暖化をさせているものと理解しています。

**Q4** 広域化の最大のメリットは財政負担の割合の問題だ。最終段階で経費負担で問題が生じメリットがデメリット、白紙のリスクになる可能性がある。行田・鴻巣・北本の旧組合も、吉見の旧組合も、経費負担で白紙になっている。構成団体のトップとして「戦略」が重要である



すわ ゆきお  
諏訪 幸男  
(彩桜きもと)



録画配信

**デーノタメ遺跡の市民意識の向上について**

**Q** 奈良県唐子・鍵遺跡に伺い、出土した太鼓型埴輪を確認してきた。この埴輪は太鼓の胴部分に

緋で皮を留めたもので6世紀前半の物と推測される画期的な発見だった。現在は史跡公園として市民の憩いの場になり、全国から多くの見学者も来られていた。その例に倣い、デーノタメ遺跡を保存するだけでなく、北本市民にとって有効に活用されるよう整備も大事であると考えているがどうか

**A** デーノタメ遺跡はまちづくりの重要な資源になり得ると考え、後世デーノタメ遺跡の存在を市民の皆様が好意的に親しみを持ち続けられる施設整備を行い、都心から1時間の立地を活かし街の活性化に繋がりたいと考えています。

**北本を元気にするための取組について**

**Q1** 東口拡幅スペースを利用した活性化策として、松本市の「街場のえんがわ作戦」のような施策を実現できないか

**A1** 松本市の「街場のえんがわ作戦」は活性化策の一つと考えますが、事業実施には市民や地元商店会、自治会の協力が不可欠です。関係機関と連携し、先進地の事例等を調査研究します。

**Q2** 郷土芸能の継承の活性化策について

**A2** 地域で培われた伝統芸能を大切にすることは、郷土を大切にすることに繋がる大変重要な事と考えます。補助制度を活用し、関係団体と調整を図りつつ人的・物的支援を行うつもりです。

一般質問は、各議員が原稿を作成しています。



しまのかずお  
島野和夫  
(公明党)



録画配信

「奨学金返還支援制度」について

**Q** 現在、大学3年生の2人に1人、年間128万人の学生が奨学金を利用。しかし、2019年度末の返済滞納者数は32万7000人、滞納債権は約5400億円。主な滞納理由は、家計の収入減や本人の低所得・延滞額の増加が指摘されている。

こうした利用者の負担軽減に向け、返還を肩代わりする支援制度が2015年から実施されている。一定期間定住し就職する等の条件を満たせば、対象者の奨学金の返済を自治体が支援する制度で、2022年6月現在で、全国615市町村が導入。自治体と地元企業が基金をつくることを条件に、国が自治体負担額の2分の1を特別交付税で支援。さらに、制度が拡充し市町村については基金設置が不要となり、国が支援する範囲も2分の1から全額までとなった。

奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減するとともに、若者の移住・定住の観点からも、ぜひとも北本市において、この奨学金返還「全額肩代わり」制度を創設していただきたい。

**A** (市長) まずは給付型奨学金を創設し、できるだけ早く実現するよう努力します。

その他の質問

- 地域活動の支援について
- 南団地入り口付近交差点の安全対策について
- GIGAスクールの課題と対策について



おかむらありまさ  
岡村有正  
(彩桜きたもと)



録画配信

少子高齢化時代の住環境政策について

**Q1** 空き家対策の課題と取組について、本市における空き家戸数の状況と空き家対策の現状について伺う

**A1** 令和2年度に行った水道使用量や現地の調査等では市内の空き家は608戸とした調査結果がありますが、今年度は北本市空家等対策計画の改定のため、空き家の実態調査を実施し、空き家の戸数を算出していきます。

空き家対策としては、周辺住民から管理不全状態の空き家の相談があった場合、所有者等に通知や指導等を行っています。また、近隣4市1町での空き家バンク登録制度、市独自の取組として空き家改修補助金制度、解体補助金制度のほか、昨年度からリフォーム補助金制度も開始しました。

**Q2** 本市の空き家バンクは活用相談があるものの、未だ登録がない状況。山形県上山市の空き家バンクは、将来施設に入居する等で住宅を手放す・賃貸する予定であれば、居住中や相続未了でも対応する住み替えバンクという制度も設けている。本市での検討はいかが伺う

**A2** 持ち家比率は約74%で、そのうち戸建住宅で65歳以上の高齢者の単身及び夫婦のみの世帯は3507世帯となっており、全てが空き家になるわけではないが、非常に大きい数字であると認識しています。住み替えバンク制度も含め、さらなる空き家対策について研究したいと考えます。

詳しくは市議会ホームページで録画配信等をご覧ください。

委提第4号「学校給食費の無償化を求める意見書」を全会一致で可決

保護者負担の原則を定める学校給食法の見直しを行い、国の責任において、全ての地方自治体が学校給食費の無償化を実施できるよう、財政措置を講じるよう強く要望します。

議提第8号「建築物石綿含有建材の事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書」を全会一致で可決

- 1 国は、国民に対し、アスベストの健康被害、アスベスト関連法改正内容等の周知を徹底すること。
- 2 国の「住宅・建築物安全ストック形成事業」にある「住宅・建築物アスベスト改修事業」について、レベル1建材のみならず一般住宅で使用されているレベル3建材まで調査・除去費用の補助制度を拡充すること。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



委提第4号



議提第8号

### 議請第2号「北本総合公園テニスコートの改修に関する請願」を一部採択

北本総合公園内テニスコートのうちクレイコートは状態が悪く危険です。

利用者が安心安全にテニスをする事ができるようにテニスコートの改修を行い、北本市のテニス愛好者の利便性を高めていただくとともに、広域的なスポーツ振興、活動の発展に寄与していただきたく、次のとおり請願します。

1 北本総合公園テニスコートについて、A・B・C・D面をクレイコートからオムニコートに改修整備すること。

2 改修整備するまでの間、利用者が安心安全にプレーできるように、現状のクレイコートに必要な安全対策を講じるなど、適正な管理に努めること。

#### 請願事項1を除き2のみ採択



※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



議請第2号

### 議請第3号「北本総合公園内トイレの洋式化に関する請願」を採択

北本総合公園内のトイレは、

管理棟南側、多目的グラウンドの西側と東側に整備されています。現在、洋式トイレは管理棟南側の多目的トイレと女子トイレの2つのみで、他は全て和式トイレです。公園利用者が使用するトイレが和式ばかりで洋式が2つのみでは、北本総合公園の価値を下げってしまうのではないかと懸念しているところです。今後、野球場を整備して公式野球試合が行われるようになることですが、公式野球試合で来園者が増える中、トイレの整備は喫緊の課題だと考えます。以上のことから、次のとおり請願いたします。

1 一日も早く和式トイレを洋式トイレに整備すること。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



議請第3号

### 議請第4号「学校給食費の完全無償化を求める請願」を採択

北本市では、2023年4

月から6か月間の小学校、中学校の給食費の無償化が実現。更に6月議会では、5か月分の給食費の無償化が全議員の賛成で可決。今年度を通しての無償化が実現したことに、感謝いたします。小学校、中学校の給食費の無償化が継続して実施され、すべての子どもたちが健康に安心して学校で過ごすことができるようにと、強く望んでいます。

1 小学校、中学校（市外の学校に通う児童生徒も含む）給食費を完全無償にすること。

2 国・県に対して小学校、中学校給食費の完全無償化をおこなうよう働きかけること。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



議請第4号

### 議請第5号「西後保護地区周辺の緑地の保全を求める請願」を不採択

西後保護地区は、北本の大きな魅力である「雑木林のある街北本」のシンボルとして

近隣住民や近くの子どもたちが自然に親しむ場所として利用している雑木林です。今年7月末に指定更新を期に一部が解除され0・19ヘクタールまで縮小しました。癒しの場、憩いの場、自然学習の場、非常時の避難の場として、さらには環境の面からも、雑木林を現状の姿で残すことは、未来の市民にとっても大変有意義であることから、以下のとおり請願いたします。

1 西後保護地区及びその周辺に残っている雑木林について、公有地化するなど、将来にわたって確実に保全すること。

※詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください



議請第5号

## 傍聴について

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

また、パソコンやスマートフォン等で気軽に本会議の録画された映像を見ることが出来ますので、是非ご利用ください。

ご利用方法については、左のQRコードから北本市議会ホームページにアクセスしていただき、トップページの「録画配信」をクリックしてください。



### 注意事項

録画配信している内容は北本市議会の公式記録ではありません。また、通信費用については利用者負担となります。

次回の定例会は、

**11月24日(金)**

開会の予定です。

## 第37回議会報告会を開催しました



去る7月29日(土)の午前9時30分より、中丸公民館において、第37回議会報告会を開催し、多くの市民の皆さんのご参加をいただきました。



## 編集後記

今年の夏は災害級と言われるような酷暑でした。この議会だよりがお手元に届くころには秋めいて涼しくなっていることかと思えます。暑いさなか行われた今議会は、令和4年度の決算認定について求められる議会でした。分厚い歳入歳出決算書と同じ厚みの行政報告書とにらめっこし、悪戦苦闘しながらの取組は、新人議員にとってはとりわけ大変な思いをしたのではないのでしょうか。新人も期を重ねた議員も市民の負託を受けたことに変わりはなく、市民の思いを受け止め、一つひとつ調査し議論し討論して採択する。住んで良かった、住み続けたいと思える北本にするために議会活動に取り組んでまいります。(湯)

### 議会広報広聴委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 大嶋 達巳 |
| 副委員長 | 湯沢 美恵 |
| 委員   | 齊藤 章  |
| 〃    | 永井 司  |
| 〃    | 高橋 裕子 |
| 〃    | 村田 裕  |